

令和3年4月25日執行

飯田市議会議員一般選挙公報

飯田市選挙管理委員会

まちを全力で再起動する!

- コロナ禍からの再起動 ● 議会が真に困っている人々の声を受け止めます
- 最先端のある秘境いいた ● この風景を守り産業を育てるリニアの郷を創ります
- 飯田下伊那はひとつ ● 議会から南信州を変えていきます

未来

小さな世界都市 飯田を目指します。

くらし 心ゆたかに安心して暮らせるまちを目指します。



井坪 隆

コロナから生活と経済を守る コロナ禍でも安心して暮らせる医療体制の構築

- ・迅速な診断体制の拡充による感染者の早期発見と隔離。(クラスターの早期封じ込め)
- ・PCR検査に代わる迅速で簡便・安価な抗原検査の推進と一部公費負担。
- ・医療崩壊を起こさないためのコロナ感染者病床の増床と療養施設の確保。
- ・市議会にコロナ対策特別委員会の設置。

みどり豊かな生活と経済を守る 耕作放棄地の解消と荒れた里山の再生。

- ・農業・林業など一次産業の基幹産業化。
- ・地産地消の推進による地域全体での自給自足の農業の推進。
- ・農産物加工業による産業振興。特に大豆ミート(代替肉)の開発促進。
- ・ふるさと納税の活用による地域農産物のブランド化。特に米のブランド化。
- ・米作りを学び体験する『米道場』。

プロフィール

1961年3月22日生まれ 岐阜県出身 パイオ系研究者 名古屋大学大学院理学研究科分子生物学専攻博士後期課程単位取得退学 博士(理学) 三菱化成生命科学研究所特別研究員、神奈川歯科大学助手、講師、東京工業大学特任准教授を経て現在は神奈川歯科大学在職中に立ち上げたバイオベンチャー株式会社モノクローナル抗体研究所代表取締役。昨年1月には大学医学部からコロナ診断用のモノクローナル抗体の開発を依頼され短期間で開発。現在は診断薬メーカーに対して抗原検査用モノクローナル抗体を供給。PCR法に代わる迅速・簡便・安価な抗原検査の普及に貢献。さらなる普及を目指す。



野崎 直仁

(60才)

女性の笑顔あふれる飯田市へ

政策

- 女性活躍** 女性が生き生きと活動できるような環境をつくれます。
- 福祉** 地域の支え合いを強め自分らしく生きていけるよう努めます。
- 医療** 感染症リスクを考慮した地域医療体制を整えるように働きかけます。
- 農業** 農業を活かしたまちづくり・人づくりを進めます。

ともに考える。ともに歩む。



佐々木 博子

政治信念

『地域へ足を運び、 市民の皆さんの声を聞き、 夢と希望を持てる 飯田市をつくりまします。』

25年間飯田市職員として行政に携わってきた経験と、1期目4年間で市民の皆さんとの対話を最大限に活かしながら、地域の皆さんが何を考え、何を望んでいるのかを常にお聞きし、市政の場へ届けていきます。

“夢と希望を持てる飯田市へ” 5つの政策

- 1 20地区の個性が輝き、住み続けたいと思えるまちづくりを!
- 2 安全安心に暮らせる福祉・医療・防災を!
- 3 活力と賑わいのある産業振興を!
- 4 働くことを軸とする安心社会の実現を!
- 5 スリハリのある財政運営で投資すべきところには投資を!



福沢 かつり

地域の声・女性の声を市政にとどけます!!

- 1 暮らしを守る
 - コロナの影響を受けて困窮している人々への支援(貧困のしわ寄せが、子ども以外にも広がっているため)
 - 高齢者が受けるに十分な介護予防事業の充実(健康寿命の要は、すこやかな口腔機能)
 - 暮らしに根差した女性の視点が活かされる飯田市内
- 2 地域を守る
 - 天竜川に親しめる環境づくり(水害への対応)
 - 災害時に変え合える地域に
 - SDGs(持続可能な開発のための17の目標)の実践
- 3 農業を守る
 - 環境にやさしい農業の推進
 - (農産物の栽培人口の増加、いっそうの地産地消)
 - 解がいを持つ方が、農業を通じ社会参画する「農福連携」の推進
- 4 学校給食を守る
 - 「健やかな心と体」を育むことを一番に考えた学校給食を子どもたちに(地元の新鮮で安全な食材を)
- 5 子どもを守る
 - 「はじめまして絵本」事業で始まった絵本の関わりを、さらに充実させる「セカンドブック」の推進
 - 子ども食堂の活動支援
- 6 文化を守る
 - 獅子舞や人形劇を育み、本や芸術を身近に感じられる市民参加型の文化の推進
 - 歴史(過去)に学ぶ環境づくり

生年月日・1964年10月2日 飯田市松尾毛賀生まれ
職歴・信州日報記者、飯田米穀(株)勤務、飯田駅前光栄内所勤務・月刊いいた 取材編集など
現在・子ども食堂の会・農を守る会伊那支部代表、長野県有機農業研究会会員、飯伊婦人文庫 会員、松尾コーラス 会員・オーケストラと友に音楽祭 実行委員、萩崎産産ホームタウンコンサート実行委員



関島 ゆり

56歳 無所属

リニアと暮らす新時代 ～原点回帰 三六災害60年の節目 コロナ禍からの学びを生かす～

20地区それぞれの地域課題解決のため、リニア事業を市民の福祉向上と経済基盤の成長事業に位置付け、コロナ禍支援や鎖国状態打破の為「民間主導でのまちづくり」を推進します。 5期目の挑戦 50才



既得権や既成概念に縛られない政治



新井 信一郎

●地域の一人ひとりが協働して助け合い、共に活動する社会の実現。

- 生涯スポーツによる健康づくり、テニスコート△の夜間照明設置、グラウンドの芝生化、子ども達に夢を与えるプロスポーツ観戦などに対応したアリーナの建設など、スポーツ施設整備。
- 「焼き肉のまち」にふさわしい、焼き肉広場や各種イベントに対応した屋根付き多目的広場の整備。
- 住んでみたい!住み続けたい安心安全な地域づくり。
- 交流人口・関係人口の拡大に向け、子育て支援、働く「場」づくり、福祉の充実を目指します。



熊谷 泰人

地域の声 市民の声を 聴き・学び 実行し・実現する

みんなの声を くみ入れて まさしく実現! 未来ある明るく心かよう 市政をつくる

私の決意。佐藤みちなり

- コロナ感染症対策と地域経済の両立
～命と暮らし、地域経済の安全と希望をめざして!～
- 三遠南信道とリニア開通に向けた諸問題の解決
- 男女共同参画、ムトス飯田助成事業の推進
- 未来を担う子供達がふるさとを誇りに思う環境づくり
～新環境文化都市をめざして!～
- 持続可能な農業・工業・商業の発展の仕組みづくり
- 生きる楽しさ、明るさ、命の尊さを実感できる地域づくりをめざして



佐藤 みちなり

飯田市議会議員候補者

おだやかに 暮らせるまちに

私は課題解決のために民意を持つて議論できる議員を目指します。



木下 とくやす

(61歳)



明日に希望を持てる飯田に!

水清く山脈美しいふるさと飯田が、今変わろうとしています。陸の孤島と言われたこの地は、リニア中央新幹線・三遠南信自動車道で、全世界との距離を一気に縮めようとしています。

私達飯田市民は、何を求め、どう行動すれば幸福になれるのでしょうか?

人口減少の今、遊休地を活用して、リモートワークしやすい環境整備を行い、県外から移住した人達と一緒に市民として団結し、努力し、成長できる、そんな「明日に希望を持てる飯田市」を目指して、皆様と共に行動したいと存じます。皆様のご支援をよろしくお願い致します。

- 1 **リニア中央新幹線を活かした街づくり**
● 圏外からの移住を促す施策
- 2 **エス・バードを活かした産業の振興**
● 商工農連携によるイベントの開催
- 3 **住みたくなる場所「飯田」**
● 福祉の充実と子ども教育への予算



筒井せいいちろう

環境に優しく、人にも優しい飯田市に

☆飯田市の強みを生かす

飯田市は、ごみの分別、レジ袋の辞退率、エンカル消費などに代表されるように、市民団体の皆様の意欲的な取り組みもあって、若い世代から高齢世代まで、幅広く住民の環境への意識が高い自治体で、このことは何ものにも代え難い飯田市の財産です。

■リニアと三遠南信道の効果を最大限に活かせる まち
地場産業の進展と農業振興により、持続的に発展できるまちづくり

■子育てが楽しく生活がしやすい生きがいのある まち
地域の宝である環境をいかし、充実した教育による子育てに最適なまちづくり

■災害に強く、福祉の行き届いた、安心・安全な まち
公助の充実、共助の確立、自助の浸透による災害に強いまちづくり

■スポーツ・文化活動で、心と身体を健康にする まち
あちこちでスポーツや文化活動が行われ、笑顔のたえない活気あふれるまちづくり



2期8年の経験を市民のために

平時とは異なるコロナ禍の今、議員に求められるのは、経験に基づいた確かな政策提案能力と判断力です。



山崎昌伸

若さと行動力で希望ある飯田市を!

1. コロナ対策に県・国と連携して公明党のネットワーク力を活かします。
2. リニア・三遠南信時代を見据え新しい飯田を目指します。
3. 魅力ある飯田市の発信と住みやすい飯田を目指します。
4. 一人ひとりの子どもを大切にすることを目指します。
5. 高齢者の皆さんが安心して暮らせる飯田を目指します。
6. デジタル社会へ、一人も取り残さない社会を目指します。
7. 公明党のネットワーク力をより飯田市のために活かします。

【プロフィール】

昭和55年生まれ 41歳	平成10年	下伊那農業高等学校卒
飯田市虎岩在住	平成12年	現高山自動車短期大学卒
飯田上郷黒田出身	同年	長野ダイヤ販売入社
平成4年 上郷小学校卒	平成29年	飯田市議会議員初当選
平成7年 高陵中学校卒		当選1回



小林しんいち

公明党公認

経験と行動力で未来を築く!

- 1 交通網の整備促進のため、生活圏の一体化には移動時間の短縮が急務。三遠南信自動車道の早期開通、主要幹線道路のバイパス化、生活道路の計画改良に努めます。
- 2 飯伊のリーダー飯田市の確立のため、町村部の感覚を市政に反映させ、地区が離れ地域自治組織の確立に努めます。
- 3 住める飯田市の確立のため、出身地区に若者が定住できるよう子育て支援、若者定住対策の充実、公共事業の導入に努めます。
- 4 地域の産業活性化促進のため、公共事業の導入に努めます。生活弱者が安心して生活できるため、女性や障害者の就業場の確保、小規模多機能ホーム・ショートステイ・在宅介護活用による地域の利便性が反映される仕組みの確立に努めます。



西森 六三

(五十八歳)

今は、リニアよりコロナ対策を

3月議会、市は5億円のコロナ対策予算を計上しましたが、それ以上に13億円のリニア予算を出しました。日本共産党市議団は「今はリニアよりコロナ対策」と予算案に反対し、組み替えを求めました。市政が市民に寄り添って行くよう、これからは行政をチェックし、願い実現に力を尽くします。

子育てで世代を全力応援

- 子育て、医療、介護、安心の街に
 - 国保税、介護保険料の引き下げを
 - 小・中学校の給食費を無料化へ
 - 憲法9条守り、原発ゼロ、消費税5%へ
- #### コロナ第4波阻止へ
- 営業が続けられるだけの協力金の制度に
 - 持続給付金の第2弾を
 - 大規模PCR検査や、介護施設、医療機関への定期検査の実施を

1967年上郷生まれ。元健和会職員。飯田市議会議員2期。飯伊社会保障推進協議会の役員、鼎小学校PTA支部長歴任。9人家族、鼎下山在住。



古川 仁

日本共産党

住みよいまちづくりにチャレンジ!

皆様の声を市政につなげます!

- 新時代に向けチャレンジ
- 安心安全のまちづくりを提案します
- 楽しいまちづくりに支援します
- 地域産業の発展に貢献します
- 住みたいまちづくりに貢献します

南信州飯田市が生き残る為、今やらなければと決意してチャレンジすることにいたしました。コロナ禍で生活様式が変わり、対策と共にリニア新幹線と三遠南信道の開通を踏まえ今からやれば未来はあります。この地域にはチャンスがあるのです。企業誘致やバック・サテライトオフィス誘致、空き家問題、人口減少高齢化、経済発展、雇用確保、社会福祉、活性化等々まだまだ改善できることがたくさんあります。魅力ある地域こそが、人々が躍動し楽しみ、来る人として住む人が増えるのです。この地域には魅力的なものがたくさんあります。9月まで会社経営に携わっていましたが、「なぜ辞めてまでそんなリスクを背負ってやるんだ」といわれました。私はこの地域が好きでこの南信州飯田市を日本一にしたいのです。



小平あきら

安心・安全で健やかに暮らせる地域に

- 安心して結婚・出産・子育てができる支援体制の確立に取組めます。
- 健康長寿につながる「医療・福祉・介護の充実」に努めます。
- 産業振興と地域振興の推進に努めます。
- 若者が働ける環境づくり、起業家支援、人材育成事業に取組めます。
- 農産物の地産地消の推進と経済循環型社会の構築に取組めます。
- 産業用地の整備と企業誘致、地域課題に積極的に取組めます。
- 自然環境を活かした調和したまちづくり
- 自然豊かな資源・資産を活かし交流人口増と移住定住推進に努めます。
- 自然環境の保全と地域文化芸術の継承事業を進めます。
- リニア・三遠南信時代を見据えた地域活性化事業推進の取組
- リニア・三遠南信道開通事業推進と地域振興に取組めます。
- 中山間地振興計画の検証と地域創生に努めます。
- 天龍峡・遠山郷・中心市街地の魅力発信と観光客誘致に努めます。
- エス・バードを活かした産業振興と観光事業を推進します。



清水 勇

記者魂を発揮

常に最前線

ほつと安心

「コロナ対策、子育て教育、福祉、防災に努めます」

ワクワク未来へ

文化、スポーツ、地域ブランドをより豊かに

リニア課題に全力

激動の時代、変化に対応できるまちに飯田を進化させます



岡田のひろひで

47歳

一人の声を大切に市民の声を政策に

1. 公明党のネットワーク力で新型コロナに挑む
2. 誰も置き去りにしない地域共生社会に挑む
3. 教育環境の充実に挑む
4. 環境文化都市・飯田市に挑む
5. 飯田市デジタル社会へ挑む
6. 次の時代へ地域経済に挑む
7. 一人の声と向き合う姿勢を貫く

【プロフィール】

昭和34年生まれ 62歳	昭和57年	創価大学法学部 卒
飯田市丸山町 在住	昭和61年	飯田市役所入所
昭和46年 丸山小学校 卒		税務、法規、医療、環境、秘書、公職など従事
昭和49年 飯田西中学校 卒	平成16年	飯田市役所退所
昭和52年 飯田高校 卒	平成17年初当選	市議現4期



永井一英

公明党公認

「安心して暮らせる地域づくり」を目指して

- リニア新幹線・三遠南信道による、新たな街づくりの実現
 - 女性が働きやすい社会環境整備と、子育て支援制度の充実
 - 若者が地域に戻り就職できる、活力ある産業づくりの実現
 - 高齢者が安心して暮らすことができる、福祉介護の充実
 - 集落営農の推進による遊休農地の解消と、地域景観の美化
 - 地元農産物の育成支援と、地産地消の拡大
 - 災害に強く安心して生活できる、地域づくりの実現
 - 章東地域の国道・県道改良に伴う、新たな産業の開拓
- 以上の項目を実現するため
- 飯田市全体を見据える中で、地域の声を市政に届ける太いパイプ役として活動して参ります



橋爪重人

大地に根ざした力強い市政を!!

- 地域コミュニティの再生と、住民自治の確立に努めます。
- 地域資源である歴史文化を活かした、美しく誇りをもてるまちづくりに努めます。
- 住民の支え合いにより、災害や犯罪に備えようとするまちづくりに努めます。
- 農・工・商・観光の振興により、大地に根ざした活力あるまちづくりに努めます。
- 地域を担う人材育成と地域医療の確立を推進し、だれもが安心できるまちづくりに努めます。
- 遊休農地の解消や、秩序ない開発を抑制することで、自然豊かなまちづくりに努めます。



下平つねお

(58歳)

安心して暮らせるまちづくり

- | | |
|------|---|
| 福祉 | 子どもや高齢者が安心して暮らせる環境づくりを進めます |
| 教育 | 子どもが意欲的に学習に取り組める環境づくりを進めます |
| 農林業 | 農業・林業・産業・観光等が連携した農林業施策を進めます |
| 社会資本 | リニア中央新幹線を始めとする交通網の早期整備および利便性向上に向けた取り組みを進めます |

【プロフィール】

昭和44年11月 山本生まれ51歳
平成25年 4月 初当選 現在2期目

【市議会役職】
広報広聴委員会委員長
リニア推進特別委員会副委員長等を歴任



竹村けいし

みんなの和!

- 1 人の絆を取り戻しコロナ禍から暮らし再生に
- 2 農業を守り技能労働を支援し多様性のある産業構造に
- 3 中山間地を全市的な視点で捉え縮小社会に
- 4 スポーツ環境を整え活力と感性豊かな飯田市に
- 5 リニアの持つポテンシャルを地域資源に繋げ2030年代には日本一住みたいまちに

絆の力で新たな挑戦



原 和世

コロナ禍を乗り越え

まずは住民の不安に寄り添う
新型コロナ対策を

地域力向上へ

高齢者の生きがいで度向上と誰もが支え手の地域福祉を子どもの生きる力と人間性が育まれる人づくり
安心防災へソフト・ハード両面の充実
心身の健康増進へ総合政策的取組の推進
自らもキーパーソンに首都圏交流の促進
地場産業・商工業と地域農業の活性化
地域資源を活用した経済観光振興
環境力による地域活性化
飯田文化の継承と創造

足元から政策を体現します

昭和40年 時文生まれ／飯田高等学校
横浜市にて衆議院議員秘書・公設第一秘書
平成29年より飯田市議会議員



つかだいら 一成

希望あふれる
飯田市の未来に 挑戦!

1. 公明党のネットワーク力を活かし、コロナ対策に全力をあげます!
2. 子どもたちが安心して暮らせる飯田市を目指します!
3. 生涯活躍社会「やりがい活躍」の飯田市を目指します!
4. デジタル社会へ、一人も取り残さない!新しい飯田市を目指します!
5. 未来に希望を持てる飯田市を目指します!

【プロフィール】 37歳で飯田市にリターン
昭和35年生まれ(60) 県みつば保育園 保護者会長
下久堅野沢出身 育良町在住 伊賀良少年野球の保護者会長を経験
昭和54年 神奈川県川崎市立川崎高校 卒 令和2年 スタンレー伊那製作所
昭和59年 法政大学社会学部 卒 (松尾) 定年退職



宮脇 誠
みやわき くにひこ
公明党公認

新しい飯田の道筋を築く。
地域産業の発展、力強い地域をつくる
中山間地域から、地域創生を実現する
地域の土台、「農・林・畜産業」の活性化
南信州全体の観光振興、経済循環を高める
子どもを産み、育てやすい環境をつくる
高齢者に優しく、安心して暮らせる地域に



しみず ゆういち
清水 優一郎

「ご当地ナンバー」の創設を目指しています
「日本一の焼肉の街」を応援しています

介護の心を市議会へ

市民と野党の共闘で、新しい政治を
介護の現場で働いてきたとき、痛くて、辛い、困る、政治を変えなければ、介護される人、命も守れない、介護の思いを、おまじ願ひます。

今は、リニアよりコロナ対策を

コロナ第4波阻止へ

- 営業が続けられるだけの協力金の制度に
 - 持続化給付金の第2弾を
 - 大規模PCR検査を
 - 介護施設、医療機関への定期検査を
- 子育て、医療、介護、安心の街に
- 国保税、介護保険料の引き下げを
 - 戸口からデマンドタクシーを
 - 小中学校を少人数学級へ
 - 学校給食の有機食材活用と無料化へ
 - 憲法9条守り、原発ゼロ、消費税5%へ

龍江育ち、800m走でインターハイ出場。「ゆいの里」勤務。介護福祉士、ケアマネージャー。ジュニアスポーツ指導員。家族は妻と二男二女。竜丘桐林在住。



いちのせい 芳明
市瀬 よしあき
日本共産党
41才

期日前投票

投票日に仕事や旅行などで投票所に行くことができない方は期日前投票をご利用ください。

期日前投票所	○飯田市役所C棟1階市民サロン 4月19日(月)から4月24日(土) 午前8時30分から午後8時まで
	○竜丘公民館・伊賀良公民館・上郷公民館 4月20日(火)から4月23日(金) 午前10時から午後8時まで
	○上村自治振興センター(上村公民館)・南信濃地域交流センター 4月22日(木)から4月23日(金) 午前10時から午後6時まで

※投票日当日は、入場券に記載された投票所での投票となります。

投票所における新型コロナウイルス感染症への対応について

長野県選挙管理委員会の新型コロナウイルス感染症対策指針に則り、次の対策を実施します。

- 投票所で実施する感染予防対策
 - ・投票管理者、立会人、投票事務従事者のマスク着用
 - ・手指用アルコール消毒液、アクリル板の設置
 - ・投票所の換気、筆記具・記載台の消毒
 - ・事務従事者の体調管理・検温
- 選挙人の皆さんにお願いする感染予防対策
 - ・投票所へお越しの際はマスクを着用し、咳エチケットの実施をお願いします。
 - ・持参した筆記具でも投票できます。ご心配な方は黒鉛筆をご持参ください。
 - ・帰宅後は手洗い、うがい等の感染予防策を行ってください。
 - ・当日投票所の混雑緩和のため、期日前投票所を活用してください。

委員長談話

飯田市議会議員一般選挙が四月十八日に告示され、四月二十五日に投票が行われます。

今回の選挙は、私たちにとって、市民の声を市政に反映させる最も身近な選挙です。

有権者の皆様におかれましては、この選挙の重要性を認識され、選挙公報や演説等を通じて、候補者を見極め、棄権することなく積極的に投票していただきたいと思ひます。

また、特に若い有権者の皆様は、他の年齢層と比べて投票率が低い状況でありますので、自分たちの将来・生活のために積極的に投票されますよう切に願ひます。

候補者、政党及び選挙運動員等の関係者におかれましては、選挙のルールを守り、国民すべての願ひである明るくきれいな選挙を実現されるよう強く要請いたします。

言うまでもなく、選挙は民主主義の根幹をなすものであり、国民が政治に対して意思を表明する最も重要な機会です。

コロナ禍で執行される選挙ではありますが、飯田市選挙管理委員会は、有権者の皆様が安心して投票に参加できるように、感染防止対策に万全を期した上で、選挙の管理執行に努めてまいります。

有権者の皆様におかれましては、投票日の混雑緩和のためにも期日前投票を活用いただくなど、大切な一票を棄権することがないよう節に願ひます。

終わりに、四月二十五日の投票日には、飯田市内の有権者の皆様が、そろって貴重な一票を投じられますよう希望します。

令和三年四月十八日

飯田市選挙管理委員会委員長

松澤 道男

飯田市議会議員一般選挙

■投票日 4月25日(日)

投票時間は午前7時から午後8時まで

(ただし、上村・南信濃地区は午後7時まで)

参議院長野県選出議員補欠選挙と同じ日に行われます。

■投票場所 入場券に記載された投票所

■投票の方法 自書式 (候補者の氏名を自書します)

※注意 候補者の氏名は、(氏)と(名)を正確に書きましょう。

■投票できる人

平成15年4月26日以前に生まれた満18歳以上の日本国民で、

令和3年1月17日までに飯田市に住民登録し、引き続き市内に居住している方。

※同時に行なわれる参議院長野県選出議員補欠選挙は、飯田市外に転出後4カ月を経過していない方で、新住所地の選挙人名簿に登録されていない方も投票できます。

●入場券が届いていない場合や紛失した場合でも、選挙人名簿に登録があれば投票できます。

お問い合わせ先 飯田市選挙管理委員会 電話(0265)22-4511
内線 2631・2632